

表現の自由と宗教的尊厳は共存できるのか？

開会挨拶

小原 克博

公開シンポジウム

「表現の自由と宗教的尊厳は共存できるのか？ —パリ、コペンハーゲンでの襲撃事件を踏まえて」

日時：2015年3月14日（土）13:00-15:30

場所：同志社大学 今出川キャンパス 良心館 107 教室

講師：近藤 誠一（元・文化庁長官、ユネスコ大使、デンマーク大使／同志社大学客員教授）

菊池 恵介（同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科 准教授）

コメンテーター：会田 弘継（共同通信社・特別編集委員）

司会：小原 克博（同志社大学神学部・神学研究科 教授）

一神教学際研究センター（CISMOR）は、ユダヤ教、キリスト教、イスラームという三つの一神教を総合的に研究することを目的としています。それぞれの宗教についての個別の研究は長い蓄積があります。それぞれを関係づけて三者の間に対話を促していくことは決して簡単なことではありません。私たちは、それぞれの宗教研究、思想研究だけでなく、一神教の人々が住んでいる社会の問題を学際的に、つまり、宗教、神学、思想だけではなく、地域研究、国際政治、安全保障、経済、歴史など様々な視点から取り扱ってきました。一神教世界における出来事は時々刻々、ニュースとして伝えられていますが、一神教は日本社会で正しく理解されているとは言えない側面もあります。一つの理由は、私たちの社会には一神教徒の数が極めて少ないことにあります。クリスチャン、ムスリム、ユダヤ教徒を全部あわせても 1%に達しません。圧倒的なマイノリティであると言えるでしょう。日常的に一神教の人々と会う機会が少ないため、実像をつかみにくいところがあります。その結果、イメージが単純化されてしまうこととなります。たとえば、テロのニュースが続くと、ムスリムは暴力的だというイメージにとらわれやすくなります。こうした問題を解決していくため、つまり、実像をより正

確に理解し、伝えていくために、この講演会も企画されました。

2015年1月7日、フランスの週刊誌の『シャルリ・エブド』が編集会議をしている最中、編集長や風刺画家が、武装した人々によって殺害されるという事件が起きました。別の銃撃事件もあり、計17の方が亡くなる惨事となりました。しかし、その直後、フランス社会が守るべき至上の価値としての「表現の自由」のもとに、多くの市民が結束し、パレード等が行われました。この事件の衝撃が冷めぬ間に、「イスラム国」による人質事件が起きました。2月14日、デンマークのコペンハーゲンにおいて、パリでの事件と似た事件が起きました。コペンハーゲンで行われていた「イスラム教と表現の自由に関する討論会」に乱入する形で事件が起り、一人の男性が死亡し、警官3人が負傷する事件となりました。その集会の中には預言者ムハンマドを描いた画家も参加していました。

こういった一連の事件の中で、「表現の自由」を絶対守らなければならないという主張もあれば、「表現の自由は無制限のものなのか」という問いも発せられました。事実、ムスリムの一部からは、預言者ムハンマドを描くことに対する明確な異議申し立てがなされました。「表現の自由に対してテロを起こす、これは絶対に許せない。しかし預言者・ムハンマドを風刺し続けることに対して我々は反対する」。こういう声も聞こえてきました。二つの異なる声を聞きながら、どのように両者を調停できるのかということについて、この講演会で考えていきたいと思っています。

表現の自由が厳しい挑戦を受けたのは、今回が初めてではありません。2005年、デンマークの大手新聞社「ユランズ・ポステン」が預言者ムハンマドの風刺画を掲載しました。それに対する抗議がなされたにもかかわらず、その風刺画は次々に転載され、2005年から2006年にかけて世界各地で風刺画に対する反対運動や暴動が起きました。今回、パリ、コペンハーゲンと事件が続きましたが、これで終息するかどうかはわかりません。

この講演会を通じて、表現の自由や宗教の尊厳などを多角的に考えていきたいと思っています。日本社会において、ヨーロッパで起こっているのと同じことがすぐに起こるとは思いません。しかし、日本でも近年、表現の自由をめぐる様々な議論がなされてきました。特に最近になって目立つようになってきたのは「ヘイトスピーチ」です。表現の自由のもとにヘイトスピーチは許されるのか、そこに制限があるとしたら、どのようなものなのかを問うていく必要があります。フランスにおいて表現の自由が高らかに叫ばれましたが、その自由は無制限のものではありません。フランスに限らず、ヨーロッパの多くの国では、反ユダヤ主義的な発言が公の場でなされた場合、その発言者は逮捕される可能性が極めて高いです。表現の自由の現状と課題を、本講演会では考えていきたいと思っています。